

飲料ビジネスの未来を創造します

Coca-Cola West

株主・投資家のみなさまへ

第52期 中間事業報告書 (第2四半期)

平成21年1月1日から平成21年6月30日まで



コカ・コーラ ウエスト 株式会社

証券コード: 2579



Contents

株主・投資家のみなさまへ	2
コカ・コーラウエスト株式会社	3
需給管理体制の変革	4
トピックス	5
地域社会貢献活動／環境推進活動	7
第2四半期連結財務諸表	9
株主優待制度	11
株式の状況	12
会社情報	13
コカ・コーラウエストグループ	14

Coca-Cola West

－コカ・コーラウエストグループ経営理念－

飲料ビジネスの未来を創造します

私たちは、

- ❖ お客さまに喜んでいただける商品・サービスをお届けします
- ❖ 社員一人ひとりの働きがいと生活を大切にします
- ❖ 継続的な成長により株主の信頼や期待に応えます
- ❖ 社会や環境とのつながりを育みます

この「未来」という言葉には、「価値」という意味を含んでおり、「お客さま」「社員」「株主のみなさま」「社会と環境」それぞれに対する価値を向上させること、そして新たなグループであるコカ・コーラウエストグループが発足したことで、未来につながるということを意味しております。そして、「私たちは、」から始まる4つの文章は、「お客さま」「社員」「株主のみなさま」「社会と環境」に、高い価値を提供し続けていくことを表しています。

株主・投資家のみなさまへ

当第2四半期(平成21年1月1日から平成21年6月30日まで)の 経営概況と業績

当第2四半期における清涼飲料業界は、雇用・所得環境の悪化による先行き不透明感から、依然として消費者の生活防衛意識や節約志向は高く、清涼飲料市場は引き続き厳しい状況が続いております。

このような厳しい経営環境の中、当社グループは、すべての価値基準を「お客さま基点」として、常に競争を上回る価値を提供し続け、10年、20年、30年と成長・発展し続けるため、3カ年の中期経営計画「*Wing*」を掲げ、その最終年度となる本年、「営業の変革」、「SCMの変革」、「業務の効率化と間接コストの削減」の「3つの変革」を主要な課題として、グループ丸となって取り組んでおりますが、前述のような影響を受け、平成21年5月1日に連結の業績予想を下方修正いたしました。修正予想に対する当第2四半期連結ベースでの業績は、売上高は微減となりましたが、グループをあげて取り組んでいるコスト削減等により利益は増加し、営業利益が8億5千3百万円、経常利益は9億8千5百万円、四半期純利益は5億9千1百万円上回りました。前年同期に対しては、売上高は6.0%減の1,771億8千8百万円、営業損益は44億8千9百万円減少し13億4千6百万円の営業損失、経常損益は48億9千1百万円減少し11億1千4百万円の経常損失、また、四半期純損益は21億4千2百万円減少し17億8百万円の四半期純損失となりました。

経営方針「3つの変革」

平成21年1月1日付で当社は、より強固な経営基盤を確立し、営業・販売機能の強化や間接コストの削減を推進するため、営業機能を担う子会社であったコカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社および三笠コカ・コーラボトリング株式会社を統合し、新会社「コカ・コーラウエスト株式会社」としてスタートし、「3つの変革」の2つ、「営業の変革」および「業務の効率化と間接コストの削減」に取り組んでおります。

また、平成21年1月1日より従来のコカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社を中心とした全国の需給管理体制から、当社を中心とした西日本エリアの需給管理体制に変革し、市場の変化に

柔軟に対応することにより、品質、コストともに競争力の高いサプライチェーンの構築を目指し、「3つの変革」の1つ、「SCMの変革」に取り組んでおります。

大変厳しい環境ではありますが、今年は次年度以降増収増益を達成できる体制基盤を築く年として、利益確保に努めてまいります。

配当金について

平成21年12月期の配当金につきましては、当第2四半期末の配当金は予定どおり1株につき21円と決定させていただきましたが、現在の厳しい経営環境に鑑みて誠に遺憾ながら、期末配当金につきましては1株につき前年より1円減配の21円(年間配当金は42円)とさせていただきたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解のうえ、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 社長兼 CEO

末吉 紀雄

コカ・コーラウエスト株式会社

平成 21 年 1 月 1 日付で当社は、より強固な経営基盤を確立し、営業・販売機能の強化や間接コストの削減を推進するため、営業機能を担う子会社であったコカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社および三笠コカ・コーラボトリング株式会社を統合し、新会社「コカ・コーラウエスト株式会社」としてスタートいたしました。

また昨年来、本社（福岡市東区）の建替え工事を進めてまいりましたが、このたび本社ビル建設の第一期工事が完了し、福岡本

社（福岡市博多区）、大阪本社（大阪市北区）および箱崎オフィス（福岡市東区）の本社機能の全て、ならびに千里丘オフィス（大阪府摂津市）の本社機能の一部を新本社に集約し、6 月 29 日より同ビルにて営業を開始いたしました。各機能が集約することにより、部門間のコミュニケーション・連携強化などによる効果を最大限発揮し、更なるコスト削減・業務効率化につなげてまいります。なお、最終的な本社ビルの完成は平成 21 年 12 月を予定しております。

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

近畿コカ・コーラボトリング株式会社

三笠コカ・コーラボトリング株式会社

4 社統合
本社機能集約

Coca-Cola West
コカ・コーラウエスト株式会社



需給管理体制の変革

当社は平成21年1月1日より、従来のコカ・コーナショナルビバレッジ株式会社を中心とした全国の需給管理体制から、当社を中心とした西日本エリアの需給管理体制を開始しております。

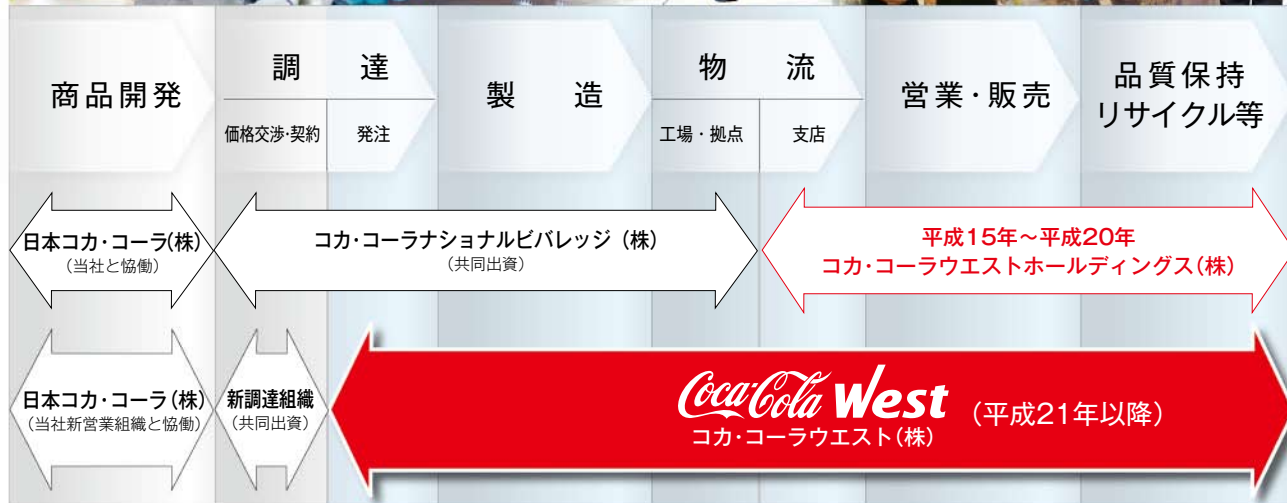
第2四半期までの主な活動としては、西日本エリアでの需給体制確立の一環として、需要の拡大が見込まれる小型PET製品への供給増加策および関西市場向けの生産拠点を強化するため、明石工場に炭酸・非炭酸用小型PETボトルの新生産ラインを建設し6月より稼動しております。

今後、市場の変化に柔軟に対応することにより、品質、コストともに競争力の高いサプライチェーンの構築を目指してまいります。



新生産ライン

明石工場



ブランド戦略

従来の最重点4ブランド「コカ・コーラ」、「ジョージア」、「爽健美茶」、「アクエリラス」に、「コカ・コーラゼロ」と「ファンタ」を加えた6つのブランドを「ビッグシックス ブランド」とし、この6つのブランドに投資を集中し、活動を強化しております。

コカ・コーラ

引き続き若年層の新規消費者獲得を目的に、音楽・環境といった最近の10代が強い関心を持っている事柄をテーマに、年間を通じて継続したキャンペーンを実施。家庭内消費の更なる拡大を目指し“食”に関連した飲用機会の提案を、昨年に引き続き積極的に展開しています。



ジョージア

「エメラルドマウンテンブレンド」シリーズのリニューアルを実施。「もっとも愛される品質と香り」を提供するために、エメラルドマウンテン豆そのものが持つ“品質”と豊かな“香り”に着眼し、味覚とパッケージデザインを重点的にリニューアル。平成21年も引き続き3カラー戦略を継続しております。



爽健美茶

平成6年の全国発売以来、男女問わず幅広い層の方々にご支持いただき、本年度発売15周年を迎えました。これを記念して、「15年間愛され続ける品質と味わい」をテーマに、2月23日より「爽健美茶15周年ありがとうキャンペーン」を全国で開始。今後さらに進化を続けていきます。



アクエリラス

No.1スポーツ飲料ブランドとしての本物感を伝えるために、2月16日より新広告キャンペーン「アクエリラスヒーローズ」を開始。その名のとおり、世界に誇るスポーツ界のヒーローたちが次々に「アクエリラス」ブランドのTVCMや雑誌広告、WEBなどに登場し、「アクエリラス」ブランドの世界観と水分補給の重要性を訴求していきます。



BIG6 BRAND

コカ・コーラゼロ

平成19年の導入以来2年連続で成長を続け、本年度ビッグシックスブランドのひとつとしてさらなる拡大を目指します。2月より製品設計、パッケージデザイン、広告キャンペーンと発売後初めてのリニューアルを実施。「ワイルドでありながらもヘルシーなライフスタイルを楽しむこと」を提案するブランドとして、さまざまな活動を展開していきます。



ファンタ

1月14日より「ファンタ」CMキャラクター「ファン太郎」を登場させ、これまで以上のインパクトで「ファンタ」らしい“驚き”、“斬新さ”、“笑い”、“楽しさ”を伝達し、製品面でも、母親や10代の消費者に安心・安全をお届けするために、製品の特徴である合成着色料不使用、ビタミンたっぷり、純水使用をブランドメッセージとともに訴求。本年度も、さらなる飲用機会の創出を昨年に引き続き目指します。



新商品 / リニューアル商品

い・ろ・は・す

「い・ろ・は・す」は、「おいしい」と「環境によい」を両立した新ウォーターブランドです。日本古来の「いろは歌」の最初の三文字と、健康と環境を志向するキーワード「LOHAS（ロハス）」を掛け合わせ、やわらかな語感のひらがなで、国産の天然水であることを表現しています。



5月18日発売

ファンタもみもみフローズン

「ファンタ もみもみ フローズン」は、暑い夏にぴったりの、“凍らせて”、“カラダを冷やして”、“もんで振って”、飲む!、「ファンタ」からの新しく楽しい、果汁入りフローズン飲料です。



6月1日発売

アクエリアス冷凍ボトル登場!



「アクエリアス冷凍PET」「アクエリアスビタミンガード冷凍PET」は、夏のスポーツや、レジャーでの外出時に、冷凍された状態で持ち運べ、溶かしながら飲むことができます。

6月1日発売

からだすこやか茶



さっぱりとしたほうじ茶ブレンドで、どんな甘いもの・食事にも合う味わい。食物繊維のはたらきで「糖の吸収をおだやかにする」特定保健用食品です。

6月1日発売

ファンタ ゼロ サイダー



フルーツフレーバーシリーズでお届けしてきた「ファンタ」から、カロリーゼロのサイダー飲料「ファンタ ゼロ サイダー」が新登場! お父さんお母さん世代にも安心してご購入いただけるよう、カロリーゼロ、糖類ゼロ、純水使用のうれしい3つを実現しました。

6月15日発売

アクエリアス ゼロ

フィットネスに求められる「より優れた水分補給」をサポートする新コンセプトのゼロカロリー・スポーツドリンク。新「アクエリアス ゼロ」は、シトラスフレーバーによるすっきりした後味はそのままに、甘さを強化することで、さらに美味しく生まれ変わりました。



5月11日発売

ミニッツメイド リモ・ナーダ

「リモ・ナーダ」とはスペイン語でレモネードのこと。レモン果汁を13%使用し、砂糖だけで程よい甘さを加え、純水ですっきりと仕上げた大人向けのレモネードです。



5月18日発売

ジョージア ゼリーコーヒー

香り高いコーヒーを甘さ控えめに仕上げたコーヒーゼリー飲料です。缶を振ることで中のゼリーが崩れ、ほど良い口当たりのゼリーの食感と、すっきりとしたコーヒーの味わいをお楽しみいただけます。



6月22日発売

地域社会貢献活動／環境推進活動

株主のみなさまのご理解をいただき、剰余金から一定額を積み立てて活動資金に充当しております地域社会貢献活動および環境推進活動についてご報告いたします。

地域社会貢献活動

「地域とともに」を基本姿勢に、「社会福祉支援」、「スポーツ活動支援」、「文化・教育活動支援」、「地域大型イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や地域とのより密接なコミュニケーションを実施しております。

当第2四半期は、さわやかクラシックコンサートの開催、市村自然塾九州の運営、さわやかラグビークリニックの開催、特別支援学校への教材（パソコン、周辺機器等）の贈呈など実施し、地域のみなさまに好評をいただいております。

また、公立小学校へ一輪車（2府12県内、200の小学校に2,000台）を贈呈しております。一輪車は、主に神経系統の発達に有効な運動具であり、児童が自主的に興味を持って取り組める教材として評価が高く、文部科学省の学習指導要領にも取り入れられています。平成5年より一輪車の寄贈を実施しており、次世代を担う子供たちがスポーツを通じて健全に成長するための一助となるよう支援しております。



公立小学校への一輪車贈呈



特別支援学校への教材贈呈



さわやかラグビークリニック



さわやかクラシックコンサート



市村自然塾九州

環境推進活動

「人も環境も、さわやかに。」をスローガンに、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献しております。

当第2四半期は、学校植林支援、地域美化活動などさまざまな環境推進活動を行っております。

また、当社グループはかけがえのない大切な資源である

水を使用する企業として水源涵養林の保全を目的に、各工場近郊の計62haの森林を「さわやか自然の森」と名付け、林野庁などと森林保全協定を締結し、共同で長期的に活動しております。当社グループの社員とその家族が専門のインストラクターによる指導のもと、森林の枝打ち、間伐および遊歩道の造成を実施いたしました。



さわやか自然の森



学校植林支援



地域美化活動

第2四半期連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前会計年度末 (平成20年12月31日)	当第2四半期末 (平成21年6月30日)
〈資産の部〉		
流動資産：		
現金及び預金	18,592	15,146
受取手形及び売掛金	21,527	23,543
有価証券	4,559	1,354
商品及び製品	11,979	31,193
仕掛品	0	167
原材料及び貯蔵品	658	2,054
その他	24,872	19,300
貸倒引当金	△ 116	△ 124
流動資産合計	82,074	92,635
固定資産：		
有形固定資産：		
建物及び構築物（純額）	33,271	37,071
機械装置及び運搬具（純額）	17,553	20,962
販売機器（純額）	26,099	26,903
土地	56,082	57,189
リース資産（純額）	—	5,861
建設仮勘定	1,097	123
その他（純額）	1,900	1,942
有形固定資産合計	136,005	150,055
無形固定資産	4,449	4,062
投資その他の資産：		
投資有価証券	32,136	28,578
前払年金費用	13,307	12,454
その他	10,244	7,976
貸倒引当金	△ 522	△ 473
投資その他の資産合計	55,166	48,536
固定資産合計	195,622	202,653
資産合計	277,696	295,288

Point 1

総資産

需給管理体制の変革により、コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社が事業を終了したことに伴い、同社の管理下にあった当社工場・物流拠点の商品在庫および製造設備のリース資産を受け入れたことならびに、明石工場の新生産設備の取得により、前年度末に比べ175億9千2百万円増加し、2,952億8千8百万円（同比6.3%増）となりました。

(単位:百万円)

科 目	前会計年度末 (平成20年12月31日)	当第2四半期末 (平成21年6月30日)
〈負債の部〉		
流動負債：		
支払手形及び買掛金	3,854	14,168
短期借入金	—	8,000
リース債務	—	2,300
未払法人税等	2,769	459
未払金	13,977	16,389
その他	5,164	4,945
流動負債合計	25,767	46,263
固定負債：		
リース債務	—	3,647
退職給付引当金	5,394	5,434
役員退職慰労引当金	7	11
負ののれん	1,037	586
その他	10,968	8,313
固定負債合計	17,407	17,993
負債合計	43,174	64,257
〈純資産の部〉		
株主資本：		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,073	109,072
利益剰余金	136,067	132,159
自己株式	△ 25,756	△ 25,758
株主資本合計	234,616	230,706
評価・換算差額等：		
その他有価証券評価差額金	△ 165	256
評価・換算差額等合計	△ 165	256
少数株主持分	71	68
純資産合計	234,521	231,031
負債純資産合計	277,696	295,288

Point 2

負債

リース資産受け入れに伴い、当社管理在庫の規模が拡大したことによる買掛金の増加や、リース債務が増加したことならびに、運転資金として銀行借入を行ったことによる短期借入金の増加により、前年度末に比べ210億8千2百万円増加し、642億5千7百万円（同比48.8%増）となりました。

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成20年1月1日 至平成20年6月30日)	当第2四半期 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
● 売上高	188,570	177,188
売上原価	109,171	98,222
売上総利益	79,398	78,965
販売費及び一般管理費	76,255	80,311
● 営業利益 (△損失)	3,142	△ 1,346
営業外収益	1,043	674
営業外費用	409	441
経常利益 (△損失)	3,776	△ 1,114
特別利益	710	165
特別損失	1,840	1,800
税金等調整前四半期純利益 (△損失)	2,646	△ 2,748
法人税等合計	2,207	△ 1,042
少数株主利益	5	1
四半期純利益 (△損失)	433	△ 1,708

Point 3

売上高

需給管理体制の変革により、商品仕入から自社製造に切り替えたことに伴い、西日本エリアの他コカ・コーラボトラーに対する商品販売が増加いたしました。同時に、コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社からの受託加工・物流収入がなくなったことならびに、エリア内での販売数量の減少などにより、前年同期に比べ113億8千2百万円減少し、1,771億8千8百万円(同比6.0%減)となりました。なお、前年同期における受託加工・物流収入は、135億3千1百万円であります。

Point 4

営業損失

売上高の減少要因の影響を受け、前年同期に比べ44億8千9百万円減少し、13億4千6百万円の営業損失となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成20年1月1日 至平成20年6月30日)	当第2四半期 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,082	1,005
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	8,238	△ 12,176
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,947	4,427
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 12,626	△ 6,743
現金及び現金同等物の期首残高	35,564	22,412
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	212
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,937	15,881

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。なお、当第2四半期より、前会計年度末にて非連結子会社であった中国ピアノ運送株式会社を新たに連結の範囲に含めたことにより、2億1千2百万円の現金及び現金同等物を受け入れております。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億5百万円のプラス(前年同期比51.7%減)となりました。需給管理体制の変革に伴うたな卸資産の増加や買掛金等の仕入債務の増加により、前年同期に比べ10億7千6百万円減少しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、121億7千6百万円のマイナス(前年同期82億3千8百万円のプラス)となりました。前期においては、保有有価証券の売却を実施したことによる収入が203億4千1百万円ありました。また、当第2四半期においては、6月より稼働しております明石工場の新生産設備にかかわる建設費用等の支出が発生しております。これらの結果、前年同期に比べ204億1千4百万円のマイナスとなりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、44億2千7百万円のプラス(前年同期229億4千7百万円のマイナス)となりました。前期において、当社および連結子会社の借入金を全額(125億円)返済いたしました。一方、当第2四半期においては、運転資金として銀行借入(短期借入金残高80億円)を行いました。これらの結果、前期に比べ273億7千4百万円のプラスとなりました。

株主優待制度 (平成21年 6月30日現在)

株主優待ポイントで、コカ・コーラ社製品詰合せセットや 社会貢献活動への寄付などの商品と交換していただけます。

毎年6月30日現在および12月31日現在で100株以上ご所有の株主さまに対し、ご所有株式数に応じて「株主優待ポイント」をそれぞれ同年9月頃および翌年4月頃贈呈いたします。「株主優待ポイント」(1ポイント60円相当)は、株主優待サイトや商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰合せセットや社会貢献活動への寄付など好きな商品と交換いただくことができます。

(平成21年6月30日現在の株主さまに贈呈いたしました「株主優待ポイント」を記載した「株主優待通知書」は、本冊子と別に、ご郵送しております。)

贈呈基準		株主優待ポイント	贈呈時期
基準日	ご所有株式数		
6月30日	100株以上 500株未満	30ポイント贈呈	同年9月頃
	500株以上 1,000株未満	40ポイント贈呈	
	1,000株以上 5,000株未満	60ポイント贈呈	
	5,000株以上	120ポイント贈呈	
12月31日	100株以上 500株未満	30ポイント贈呈	翌年4月頃
	500株以上 1,000株未満	40ポイント贈呈	
	1,000株以上 5,000株未満	60ポイント贈呈	
	5,000株以上	120ポイント贈呈	

(注) ポイントには有効期限がございます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

優待商品例

コカ・コーラ社製品詰合せ



コカ・コーラウエスト
ロゴ入りバスタオル



平成22年度
コカ・コーラカレンダー
(写真は平成21年度版)



「市村自然塾 九州」への寄付



※商品についての詳細は当社ホームページをご覧ください。

「平成20年12月期 株主優待」における社会貢献活動への寄付のご報告

平成20年12月31日現在の株主さまに贈呈いたしました「平成20年12月期 株主優待」におきまして、社会貢献活動「市村自然塾 九州」に対し、寄付をお申し込みいただいた方のポイントおよびポイント交換期間内に使用されなかったポイントの合計額を、以下のとおり、「コカ・コーラウエスト株式会社(株主寄付口)」として寄付させていただきましたので、ご報告申し上げます。

※「市村自然塾 九州」は、みなさまからの寄付金を運営費の一部とさせていただき、活動のさらなる充実に目指してまいります。誠にありがとうございました。

	人数	合計ポイント	寄付金額
寄付お申し込み	77名	2,560ポイント	153,600円
ポイント未交換	1,224名	63,010ポイント	3,780,600円
合 計	1,301名	65,570ポイント	3,934,200円



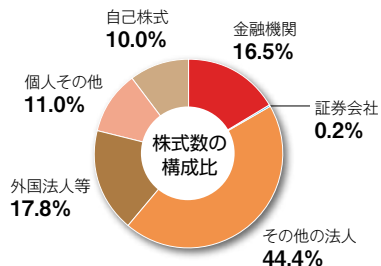
株式の状況 (平成21年 6月30日現在)

発行可能株式総数	270,000 千株
発行済株式総数	111,125 千株
株主数	24,148 名

所有者別株式数の状況

	株主数 (名)	所有株式数 (千株)
■ 金融機関	67	18,345
■ 証券会社	28	245
■ その他の法人	469	49,382
■ 外国法人等	267	19,796
■ 個人その他	23,316	12,207
■ 自己株式	1	11,149
合計	24,148	111,125

〈株式数の構成比〉

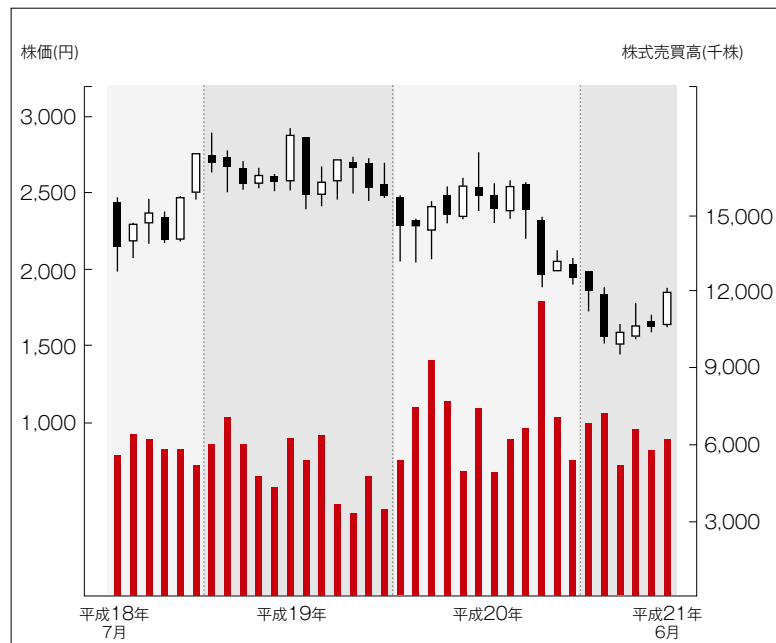


大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社リコー.....	16,792	16.9
キリンホールディングス株式会社.....	11,626	11.7
財団法人新技術開発財団.....	5,294	5.3
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク.....	4,074	4.1
三菱重工食品包装機械株式会社.....	3,912	3.9
株式会社西日本シティ銀行.....	3,703	3.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）.....	3,551	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 4G）.....	3,250	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）.....	2,354	2.4
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS ...	1,808	1.8

(注)当社は、自己株式11,149千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

株価および株式売買高の推移



会社情報 (平成21年6月30日現在)

会社概要

商号	コカ・コーラウエスト株式会社
本社所在地	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
連結従業員数	8,325名
主な事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売
上場証券取引所 (所属部)	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

ホームページのご案内 <http://www.ccwest.co.jp/>



当社ホームページでは、株主・投資家のみなさまに向けて、IR情報、財務情報、IRイベントスケジュール、IR資料など、豊富な情報を掲載しております。見やすく、わかりやすく活用していただけるページ作りに力を入れておりますので、ぜひご利用ください。



◆ IR ニュースメール

ご登録いただいた方へ IR 情報サイトの更新や決算発表、ニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしております。

取締役・監査役・経営諮問委員会

取締役

代表取締役	末吉 紀雄	社長兼CEO
代表取締役	吉松 民雄	副社長兼チーフオフィサー(最高営業責任者)
代表取締役	森田 聖	副社長兼チーフオフィサー(最高企画責任者)
取締役	柴田 暢雄	副社長兼チーフオフィサー(最高総務責任者)
取締役	太田 茂樹	専務執行役員チーフオフィサー(最高財務責任者)
取締役	宮木 博吉	専務執行役員チェーンストア営業本部長
取締役	若狭 二郎	専務執行役員チーフオフィサー(最高SCM責任者)
取締役	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
取締役	マイケル ケームス	利根コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長
取締役	本坊 幸吉	南九州コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役会長

監査役

常任監査役	原田 忠継	常勤
監査役	網塚 忠優	常勤
監査役	三浦 善司	(株)リコー 取締役 専務執行役員
監査役	佐々木 克	(株)西日本シティ銀行 代表取締役副頭取
監査役	京兼 幸子	弁護士 京兼法律事務所 代表

経営諮問委員会

委員長	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
委員	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ(株) 取締役会長
委員	松尾 新吾	九州電力(株) 代表取締役会長
委員	榎本 一彦	福岡地所(株) 代表取締役会長 ロイヤルホールディングス(株) 代表取締役会長
委員	塙 俊昭	三菱重工食品包装機械(株) 代表取締役会長
委員	石原 進	九州旅客鉄道(株) 代表取締役会長
委員	松崎 隆	弁護士 徳永・松崎・斉藤法律事務所 代表
委員	武藤 英二	(株)NTTデータ経営研究所 取締役会長
委員	伊藤 邦雄	一橋大学 教授

コカ・コーラウエストグループ (平成21年6月30日現在)

コカ・コーラウエストグループは西日本2府12県において、181カ所の事業所(支店、工場、業務センター、物流センター)を展開している地域に密着した会社です。各グループ会社における全ての従業員は、製造、物流、営業・販売、機器サービスといったそれぞれの機能・役割に応じて日々、お得意さま、お客さまのもとへ安全で高品質の商品、サービスをお届けするため精力的に活動しております。



コカ・コーラウエスト株式会社
西日本ビバレッジ株式会社
関西ビバレッジサービス株式会社
株式会社ネスコ
株式会社カディアック
コカ・コーラウエストジャパンセールス株式会社
コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社

コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社
コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社
コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社
コカ・コーラウエストサービス株式会社
株式会社秋吉システムズ
中国ピアノ運送株式会社

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月開催

基準日

●定時株主総会 毎年12月31日

●期末配当金 毎年12月31日

●中間配当金 毎年 6月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

(株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について)

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

(特別口座について)

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

電子公告により、当社ホームページ (<http://www.ccwest.co.jp/koukoku/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

Coca-Cola West

コカ・コーラウエスト株式会社

〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

IR部 TEL 092-641-8590

<http://www.ccwest.co.jp/>

